

令和8年9月13日執行

美馬市長選挙公報

美馬市選挙管理委員会

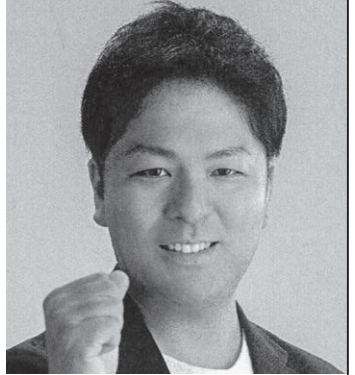
待つ行政から 動く行政へ！

- ▶人口が減っているから、できない。
- ▶財政が厳しいから、できない。
- ▶地方だから、できない。



- ▶「できない理由」を探すのではなく、
▶「どうすればできるか」を考える市政へ。
- ▶人を活かす。地域を活かす。財源を生み出す。
- ▶美馬市が持っている可能性を、もう一度動かします。

日本一前向きな市政を、美馬市から。
私たち現役世代にご期待ください。



かげやま 勝利とかがし

01 財源を生み出す。
「お金がない」で終わらせない。
●国・県の財源を積極的に取りに行く
●ふるさと納税を美馬市の「稼ぐ力」に
●企業版ふるさと納税・民間資金呼び込む
●市有資産を眠らせない

▶「持っているだけの資産」から「価値を生み出す資産」へ。
売却・貸付・民間活用など、新しい財源につなげます。

02 美馬市の資源を「稼ぐ力」に変える。
あるものを活かす。地域の強みを仕事と収入へ。
美馬市には、まだ十分に活かされていない
資源があります。

- 農業・林業を「産業」として強くする
- 観光を「来てもらう」から「稼ぐ」へ
- 空き家・空き店舗を地域資源へ
- 企業・起業家が「投資したいまち」へ

▶「誰もが投資してみたい美馬市」を目指します。

03 地域でお金を回す。
市の仕事を、地域の仕事へ。

- 市内事業者への優先発注を推進
- 市内事業者優先調達仕組みづくり
- 市内発注率を見える化
- 地域の中でお金が回る仕組みへ

▶市の仕事→地元企業の売上→雇用・給与→地域での消費という好循環につなげます。
予算の「消費」から、地域への「投資」へ。

04 市役所から変わる。
人を活かす。若手を活かす。挑戦できる組織へ。
市政を変えるためには、まず市役所自身が
変わることが必要です。

- 定期的に人員配置を見直す
- 適材適所の人事へ
- 若手職員を積極的に活用
- 副業など新しい働き方を検討
- 外部人材・専門人材を積極活用
- 市長選・市議選の同日実施を目指す

▶前例踏襲から、挑戦する市役所へ。

05 見える市政・市民とつくる。
「決まってから報告」から「決める前に説明」へ。

- 市長が地域へ出向く
- タウンミーティング(対話集会)を定期開催し、市民の声を市政へ
- 大型事業は決める前に説明
- 市のお金を見える化
- 公約の進捗を毎年

▶実施済み・進行中・未着手・見直しなど、市民が確認できる形で公表します。

06 子どもから高齢者まで、暮らしを守る。
生み出した財源を、市民の暮らしのために使う。
行政改革の目的は、削ることはありません。
ムダを減らし、財源を生み出し、子どもから高齢者
まで、誰もが安心して暮らせる美馬市をつくれます。

- 子育て・教育への投資
- 若者が帰ってこられる美馬市へ
- 高齢者の移動・買い物・通院を支える
- 医療・介護・福祉の連携を強化
- 道路・橋・水道など、暮らしの基盤を守る
- 防災・高齢者支援を強化

▶子どもの未来を育て、高齢者の安心を守る。
世代を問わず、住み続けたい美馬市へ。

かげやま勝利プロフィール

1984年(昭和59年)
5月23日生まれ(42歳)
(美馬市脇町出身)

経歴

2000年 岩倉中学校卒業
2003年 脇町高校卒業
2007年 四国大学卒業
2009年 四国大学大学院修士課程卒業
元 美馬市農業委員
元 市議会議員

実績

2016年 (一社)美馬青年会議所 第35代理事長
2019年 (公社)日本青年会議所四国地区
徳島ブロック協議会 2019年度 会長
2019年 第一回にし阿波の花火大会 大会長
2020年 (一社)SMASH ACTION 監査
花火、キャンプ、eスポーツ、人材育成、
など他種多様な分野で「まちづくり事業」を実施

未来に対し責任ある市政を進めます

人口が減少する中、市民の幸福度を高める6つの政策

1 大型プロジェクトの着実な推進

クリーンセンター美馬の老朽化を受け、環境に配慮し、財政負担を最も軽減できる方法として、他自治体で実績のある「トンネルコンポスト方式」による可燃ごみ処理施設の整備を進めます。

2 地域の「稼ぐ力」の向上

- 市独自の耕作放棄地対策の継続
- (株)Mizkanとの連携によるゆずの産地化
- 企業誘致・雇用促進と企業の担い手確保
- デジタル地域通貨MIMACAの普及 など

3 県内トップレベルの防災対策

- 大規模災害の教訓を生かした訓練の継続
- 最新情報を反映したハザードマップの作成
- 吉野川浄園跡地などへの車中泊避難場所の整備
- 国や県と連携した美馬市の『強靱化』など

4 「健幸」のまちづくりの推進

- コンディショニングの更なる普及や健康ポイント事業を通じたスポーツ実施率の向上
- 「美」を通じた高齢者の外出促進 など

5 子育て・教育環境の一層の充実

- 小・中学校給食費無償化の継続
- 小・中学校入学祝いポイントの継続
- 小・中学校体育館エアコン導入の着実な推進
- 中学校部活動移動支援の継続
- 学校ICT教育環境の充実(電子黒板等) など

6 効率的で持続可能な

行財政運営

- 新たな財政構造改革プランの策定と、プランに基づく改革の断行
- 将来を見据えた「第4次総合計画」の策定と根拠に基づく政策の推進(EBPM)

加美かずしげ プロフィール

昭和33年3月 穴吹町生まれ
穴吹小学校、
穴吹中学校、
脇町高校を経て
昭和55年3月 専修大学商学部
卒業
昭和58年11月 穴吹町役場入職
平成17年3月 町村合併により
美馬市職員に
平成25年4月 企画総務部長
平成26年4月 副教育長
平成28年4月 政策監
平成29年4月 副市長
令和4年10月 市長(1期目)

●趣味
スポーツ観戦、カラオケ
●座右の銘
日々新たななり



加美 かずしげ

お花で幸せになれる。この幸せを届けたい。

私はお花が大好きです。

特にシンビジウムをはじめとする洋ランは、
人の心を豊かにし、暮らしに彩りを与えてくれる
特別な存在だと思っています。

日本だけでなく、
フランス、オランダ、台湾、タイをはじめ
世界で高い評価を受けたメリクロン技術は
世界中のシンビジウム、ラン、キク、
カーネーション、ジャガイモ、ダリア、
イチゴ等の栽培で活用されている
日本が誇る大切な財産です。
徳島県美馬市は、シンビジウムの名産地で
世界でも有数の素晴らしい地域です。

徳島県美馬市において、先進的な育種技術とシンビジウムを
地域とともに世界に広く発信して、
お花の幸せの輪を広げていきます。

美しいお花の力で人を幸せにする徳島県美馬市を
活性化させていきたいと思っています。



新興宗教問題

- 旧統一教会は解散命令が出されましたが、
創価学会についても解散命令を出すべきです。
- 高額献金問題についての相談多数
 - 脱会者への嫌がらせ・人権侵害
 - 政治への不当な影響力
 - 家庭破壊・人生破壊の実態

これらの問題を放置してはいけません。
信教の自由は尊重されるべきですが、
社会に害を及ぼす行為は許されません。

44歳
創価学会撲滅党
推薦

なべおか幸則



プロフィール
●昭和57年(1982)1月3日
群馬県館林市に生まれる
●関東学院大学法学部卒業
●食料品・居住関連品の小売業
●運送会社でのドライバーを経験
●特技:水泳、釣り、
魚をさばくこと

私の想い

花でつながる、笑顔あふれる未来へ。
お花は、人の心を癒し、笑顔にしてくれます。
この素晴らしい力を、もっと多くの人に届けたい。
地域の未来を見つめながら、花とともに
幸せを育むまちづくりに全力で取り組みます。

旧統一教会のように、創価学会にも解散命令を！新興宗教の被害から国民を守ろう！

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま縮小して掲載したものです。

美馬市長選挙

投票日

9月13日(日)

投票時間 …… 午前7時から午後8時まで

投票所へは投票所入場券をご持参ください。
投票所入場券をなくしたときや届いていないときは投票所の係員にお申し出ください。



当日投票所に行けない方は、期日前投票をご利用ください。

期日前投票期間 9月7日(月)から9月12日(土)まで

期日前投票時間 午前8時30分から午後8時まで

木屋平複合施設のみ

午前8時30分から午後6時まで

美馬市選挙管理委員会